

第28回 口腔機能って何だろう？

＝「認知症の方」の食事拒否の原因と対処法について＝

(その3)

北九州在宅医療・介護塾
塾長 久保 哲郎

今回も前回に引き続いて、認知症の方の食事拒否の原因と対処法についてご紹介します。

⑤体調が悪いため食事に気が回らない場合があります。便秘や口内炎、熱っぽい等、体調不良が食欲低下を招いていて、その結果「食べたくない」と意思表示するケースです。食事拒否に加えて、急に怒りっぽくなったり、不機嫌な状態が続いている場合は、そのような状態に陥った理由を知ることが必要で、理由が判明した際には早期に解決策を講じなければなりません。

この場合の対処法は、まずは、「気分が悪い?」、「お口の中は痛む?」等の声掛けをし、具合が悪いかどうか尋ねてみます。介護者に言い出しづらいために食事拒否をしている場合もありますので、色々な質問をして反応を見ましょう。

お年寄りには身体を動かすことも少ないため、「単にお腹が空いていないだけ」という

こともあります。1～2日状態を観察して、食事拒否が続くようであれば主治医に診て戴きましょう。

ところで、食事を介助する上で大切なポイントは、ご本人の意志に逆らって飲み込ませることは誤嚥となり、肺炎や窒息のリスクが高まりますので、「無理矢理飲み込ませない」こと、そして、「食べない時もある」と割り切って関わり、きれいに全量食べることよりも、食事の時間が楽しくなるよう工夫することが大事です。

認知症の方であっても、感情や情動は勿論持ち得ていますので、「食べたい時に、食べたいものを、食べたい人と、食べたい場所で、しっかり噛んで美味しく食べる」ことに努めてください。次回に続きます。

※口腔ケアや食介護等で困っている方は、本会事務局までFAXでお尋ねください。事務局より対応法等について回答させていただきます。FAX：093-882-5599

